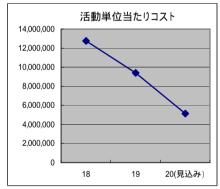
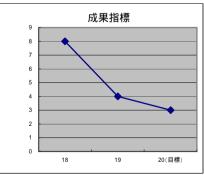
事務事業名		旃釟		会計	1	一般会計								
			设·作業所運営補助事業 	予	款	3	民生費							
総合基本計画	まちづくり	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	算科	項	1	社会福祉費							
	の目標(章)	2		目	目	2	社会福祉事業費							
	施策(節)	4	障害者福祉		事業	3	障害者(児)福祉							
画	施策の方向	(2)	地域での自立した生活支援の充実	作	作成部署 保健福祉部福祉支援課									
関	連する計画等	羽曳	即市障害福祉計画	追	絡先	072	072 958 1111 内線 1211							
事業	対象(誰を・	何を	何を)											
業の	小規模通所招	所授産施設又は小規模作業所を運営する法人・団体等 「投産施設 フは 小規模 作業 所を 運営する 法人・ 団体 等												
目	意図(どう)	ういう状態にしたいのか)												
的	障害者の日中	活動	かの場を確保するとともに、生活指導や作業指	導を	行うこ	اع	こより障害者の社会参加を促進する。							
事		模通所授産施設又は小規模作業所を運営する社会福祉法人・団体等に対し、運営費を補助するもの。												
		国基準に基づき、施設の種類及び利用人数等に応じて決定する。												
の														
内容														
		羽由	野市小規模通所授産施設運営事業補助金交付要綱、乳	河由日	昭市簡 見	111	3.除宝老通所授辞事类通觉辅助全交付要编							
_	# # # # # # # # # # # # # #	777												
_		□ 昭和 □ 平成 年 月開始 ☑ 明確にはわからない 終了年度 平成 23 年度 障害者自立支援法の施行により、同法に基づく施設への移行が進んでいるため、補助対象施設が減												
-	業開始時から 状況変化	障舌有白立又接法の爬1]により、同法に参うて爬設への参1]が進んでいるため、補助対象爬設が減 少している。												
_	民や議会の要		, cv. s,											
望														
実施手法			直営 □ 一部委託 □ 全部委託	\checkmark	補助金	・助	加成金 □ その他()							
委託先		□ 外郭団体委託 名称		禾	红山宓									
			民間委託	安	託内容									
			18年度 10年度		20年度									

		区分	分			19年度	20年度	
				(実績)		(実績)	(見込み)	
事	業費	[1]	(千円)	100,83	0	36,325	14,150	
人	牛費	[2]	(千円)	1,26	0	1,260	1,260	
	T	正規職員		0.15	٧	0.15 人	0.15 人	
	職員数	再任用職員		0.00	٧	0.00 人	0.00 人	
		嘱託職員		0.00	\vee	0.00 人	0.00 人	
		臨時職員		0.00	\vee	0.00 人	0.00 人	
	超	過勤務(参考)	(時間)	0.00 時	間	0.00 時間	0.00 時間	
総	事業	(費(【1】+【2】)【A】	(千円)	102,09	0	37,585	15,410	
	財源内訳	国費	(千円)	15,00	0	5,000	416	
		府費	(千円)	37,10	0	15,662	6,866	
		市債	(千円)					
		その他 (手数料・使用料等)	(千円)					
		一般財源	(千円)	49,99	0	16,923	8,128	
活	勆指	『標(事業の活動実績)【B】	単位	18年度		19年度	20年度(目標)	
	施	没数	箇所		8	4	3	
活重	肋単	位当たりコスト(【A】/【B】	12,761,250	円	9,396,250 円	5,136,667 円		
市目	₹ 1	人当たりコスト(【A】 / 人口)	848 F	円	313 円	129 円		





	~ 事	指標名	指標設定の考え方		平成18年度	平成199	平成20年度	
<u>_+</u>	事業 目的	施設数(個所)	 日中活動の場の確保が図		8	4	達成率(%)	3
成果お	の達成	(式)	られた箇所数	実績	8	4	100.0%	
指標	度を測る			目標			達成率(%)	
	指標)	(式)		実績				

市の関与		市の関与が必要な理由										評価						
			1 2 3 4 5 6						7		8	9	9 必要性 分析・評価の					
			法令上	受益者	最低限	市民の	社会的	民間だ	民間だ		市の特			障害者の日中活動の場の				
	与の		の義務	が不特	の生活	不安を	経済的	けでは	けでは		色等を		_	確保が必要である。				
	必			定多数	水準を 確保	解消	弱者を 対象	負担しき れない	供給7		市内外 へ発信		有					
	必要性				HE LA		X12K	10/201			175 IE	3 3						
	性																	
	視	占		分	析のため	りのチェッ	カ占		1±1.1	いいえ	該当	分析・評価の説明						
	176.7	///\			4/102/20.	J0JJ ± J	7.77				なし	ウサム						
			市民ニース						<u> </u>	<u>Ц</u>		障害者の日中活動の場の確保に有効な事業 である。						
				ズに比較し ⁻			削となってい	ない	☑	Ш	Ш							
			社会情勢の変化に対応している						V			<u> </u>						
	妥当	当性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない						☑									
			 国·府の事業と重複していない						V	$\overline{\Box}$	П							
										+	붐							
			事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい							ㅂ	븜							
			緊急性が認められる						부	빝	$\overline{\square}$	」 補助金は運営費の一部であり、運営主体も 						
			単位コストが適切である(経年、他市比較など)						<u> 닏</u>		補助金は連昌員の一部であり、連昌王体も 相応の負担をしている。現状の補助水準を							
			受益者負担の割合は適当である							<u> 닏</u>	븜	引き下げると、施設の運営に支障をきたす						
分			人員を削減する余地がない							<u> 닏</u>	븯	恐れがある。						
分析	効率	咝性									ᆜ							
•			簡略化できる方法や手段がない						V									
評価			市の他事業と重複していない						V									
1Щ			民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない						V									
			上位の施	策(目的)が	「明確である	3			V				社会参加の)促進に有効な事業であ				
	有效	tı.⊮+	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である									る。						
	ΉX	ガユ	成果を向上させる余地がない						V			<u> </u>						
			市民の視点にたってサービスが提供されている															
			事業の企画、立案に市民が参加している								$ \sqrt{} $							
	協賃	:h.l/-H	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている									<u>1</u>						
	加加生	训土	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している															
			事業の実施に市民の参加、協力が得られている								$ \overline{\mathbf{A}} $							
			成果指標の目標値は適正である					✓			一定の場の確保はできている。							
	達成	芨度	成果指標の実績値は目標値以上である					V										
			成果指標は前年度より向上している						V									
		総合	評価															
		L] 拡大·充実 □ 現状維持 □ 方法改善 □ 民営化·民間委託 ☑ 縮小 □ 廃止·休止 □ 完了															
1	担	評価	の理由															
3	当 																	
j	司	障害	者自立:	支援法の	施行に。	より事業	所移行が	が進んです	うり、	本事	業の	使命は縮	小しつつま	ある 。				
i	評	A 1.4.		/ III / II → △		. 4. 7.6 ** 7.6	****	\										
1	西	学後	に回げて	(取組方金	T、具体的	ル以西改	.单系なと)										
		平成	成23年度末までに障害者自立支援法上の施設への移行を促進する。															